



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2019年 3月 1日発行

**3月号** 向日市上植野町西小路3-4  
**No. 97** 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

## 向日市議会・第1回定例会 (2/20~3/19)

# 予算審議が始まる

2,3面参照

## 新庁舎・市民会館の基本設計まとまる

2019年度予算を決める議会が開会しました。市役所新庁舎はいよいよ詳細設計に着手し、2020年中に現在の市役所敷地内に完成予定。市民会館はその北側に新庁舎と一体的な施設として、2021年度に永守重信氏から寄贈の予定です。先日、議会に基本設計案の説明がありました。

ともに市民待望の施設です。5月頃には広報むこうに掲載される予定と聞きますが、ホームページを活用するなどして、できるだけ早く市民の皆さんに内容をお伝えするよう求めます。

## 救護施設問題の解決へ努力

京都市の救護施設の建設を巡り、京都市・事業者の説明に向日市民の理解はいまだ得られていません。この問題には、向日市民を無視したような計画の問題と、必要な福祉施設を私たちの住む地域社会に受け入れることを巡る課題があります。向日市行政もこの問題解決に関わるべきです。私も皆さんのご意見を伺いながら解決への努力をしたいと思います。(3面参照)



杉谷伸夫・64才  
向日市議会議員・無所属  
上植野町イトーピア在住

## 「埋立反対」7割—沖縄県民投票

米軍基地建設のための辺野古の埋立を問う沖縄県民投票では、「埋立て反対」の明確な民意が示されました。投票率52%、反対票72%・43万票と当初想定 of 基準をすべて超え、反対票は県知事選の過去最高39万票を大きく超えました。しかし安倍首相は「結果を真摯に受け止める」と言いながら「これ以上先送りできない」と投票で示された沖縄の民意を無視し辺野古移設を進める姿勢です。

私は、この問題は沖縄だけでなく日本国民みんなの問題だと訴え、「**県民投票に連帯する市民投票**」に取組みました(4面参照)。政府が沖縄の明確な民意を無視するならば、民主主義は死にます。

★市民投票への多数のご参加ありがとうございました。

## 議会傍聴・催し等のご案内

- ★3月4日(月) 杉谷議員の一般質問  
午後 2:30 ~ 4:00 頃の見込み
- ★3月9日(土) 市民参加でまちをつくる会  
午前 10時 ~ 12時 寺戸公民館・中会議室  
向日市議会・市政の諸課題、その他
- ★3月10日(日) 午後1:30~ 円山野音  
「バイバイ原発京都・集会&デモ」
- ★3月16日(土) 講演会「隣国と仲良くする為に  
~日本軍「慰安婦」及び徴用工問題を学ぶ  
午後 2時~ 4時 寺戸公民館  
お話：山下明子さん(アムネスティ・インターナショナル関西連絡会代表)

### 連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



# 向日市の新年度予算案

## 待機児童解消は不透明

### さらなる子育て支援策を

★向日市議会のホームページに、予算・条例案など議案のほぼすべてが掲載されています。

[向日市議会]—[議案・議決結果]—[向日市議会平成31年第1回定例会]からダウンロードできます。予算関係の資料は膨大ですが、まずはその中の「主要事業（補足資料）」を見て頂くのが良いと思います。

2月20日、向日市議会第1回定例会が開会し、新年度予算案等が提出されました。委員会審査の後、3月19日最終日に採決となります。

4月に向日市長選挙があるため、提出された予算案は継続的な事業以外は最小限の「骨格予算」ですが、市役所本庁舎の建て替えや、第4向陽小学校の教室増築などの事業があり、過去最大の当初予算額となっています。

提案されている予算案の中で、私が注目するものをいくつか紹介します。

#### ●子育て支援①：新民間保育所の開設で待機児童解消めざすも先行き不透明

保育所の入所申込みが昨年比100人も増えました。小規模保育所2ヶ所の開設等による定員増と入所調整により昨年より待機児童は減少するとの説明ですが、今年も多く待機児童が出ます。

新年度は定員100人の民間保育所の開設で1年後の待機児童解消をめざす計画ですが、国の幼児教育・保育無償化の影響が見えず先行き不透明です。保育所待機の方への支援や、不足する保育士確保策など、さらなる子育て支援策が必要です。

#### ●子育て支援②：小学校の教室・学童保育の増築

北部の児童増加による教室不足の解消へ、4向小で4教室増築、第2・第4学童で保育室を増築。

#### ●国民健康保険：保険料増に歯止めが必要

- ・3年間で約17%の保険料値上げの最終年度で、新年度も保険料値上げが予定されていますが、中低所得世帯の負担増の歯止めをすべきです。
- ・保険料の上限が年93万円→96万円にアップ
- ・2018年度から、国民健康保険財政の大本が京都

### 3月議会の主な日程

- 3月4, 5, 6日 一般質問
- 8, 11, 12日 各常任委員会
- 19日 最終本会議（採決）

府に移管され、向日市が京都府に収める納付金が一人当たり11.3%もの大幅増となります。今後の保険料の上昇につながる可能性があります。これは向日市の責任で無く制度の欠陥です。

#### ●西向日駅前整備：駅西側の歩道を整備予定

西向日駅西側の駅前広場整備が始まり3月中に完成予定。新年度は駅西側の歩道を整備予定です。

#### ●市役所本庁舎・市民会館の建て替え

市役所本庁舎は、2020年中に完成予定

省エネ設計（ZEB READY  
省エネ50%）

展望レストランを検討

市民会館は、2021年度完成・寄贈を受ける予定

市民会館用の駐車場確保が検討課題



#### ●防災対策：防災マップは今年改訂発行予定

- ・ブロック塀等撤去への補助金交付
- ・浸水対策で上植野町JR東側地域に、いろは呑龍トンネルに接続する雨水トンネル整備事業

#### ●コミュニティ・バス：運行開始へ

当初はこの3月までの運行をめざしていましたが難航し、北ルートはジャンボタクシーにして、南ルートは阪急の既存路線バス（77,78系統）の減便と引き替えに、運行する方針を決めました。

心配は、77,78系統路線バスが、減便だけに留まらずに、1年後に利用状況や収支状況を見て廃止もあり得るとされていることです。

#### ●観光交流センター：具体的な中身がわからない

JR向日町駅の北側に大型バスの駐車可能な観光交流センターを、新年度中に建設の計画ですが、具体的な内容がまだ明らかではありません。

#### ●大型プロジェクト：議会への報告を

向日町駅舎橋上化、JR向日町駅東口地域の整備、洛西口駅西地区開発、旧市民会館及び第3保育所跡地利用などの大型プロジェクトについては、事業の進捗と新年度の予定について、議会報告を求めてゆきます。

# 杉谷伸夫の

## 活 動 報 告

### 議会の一般質問予定

3月4日(月) 14:30頃~16:00頃の見込み  
Youtubeで生放送、及び録画放送が見れます(録画は当日夜には多分OK。Youtube→向日市議会)

#### 1 市長は毎議会に事業の進捗報告を

市長には市の事業の進捗について、議会(市民)に的確に報告する責務があります。現在は、市長から毎議会に特段の報告はなく、議員が質問してそれに答えて初めて報告されることが多いのが現状です。

(1) 今後毎議会の初日に「市長報告」を行ない、事務事業の進捗状況や課題、そして新たに生まれた重要案件について説明するよう求めます。そのことにより、

①議会が行政と現状認識を共有することができ、より効果的で建設的な審議ができることが期待できます。

②市政の状況を市民が知り、行政の進める事業の透明性がより高まり、市民の市政への参画を進めることができます。



(2) 大型プロジェクト等の進捗状況について報告を求めます。市役所本館及び市民会館の建て替え、向日町駅舎橋上化、JR向日町駅東口地域の整備、洛西口駅西地区開発、阪急西向日駅前開発、旧市民会館及び第3保育所跡地利用、巡回バス運行事業について、12月議会以降の進捗状況の報告を求めます。

#### 2 救護施設問題の解決に向向日市行政は関わるべきだ

この救護施設の建設を巡って市民から出されている疑問は、大きく2つです。

- (1) 救護施設ができることによって、周辺住民の住環境の安全に影響はないか
- (2) 救護施設の建設場所に大きな疑問がある

(1)点めについては、この施設は経済的、その他身体的、精神的な障がいなどから一人で生活することが困難な方々を支える為の施設であり、しっかりした運営が為されるならば地域住民の安全を脅かす性質の施設ではありません。地域住民の皆さんの意見にしっかりと耳を傾け、誠意ある説明と適切な対応がなされるよう求めます。

しかし(2)点めの建設場所については、それとは別の大きな問題があり、京都市と施設の設置運営事業者による住民説明会が2回行われましたが、住民の疑問は払拭されませんでした。

この問題の解決には、京都市・事業者と向日市民の間の問題だけでなく、向日市自らが関わらなければならない問題だと私は思います。この問題に関わる向日市の基本姿勢と、今なすべきことをたします。

#### 3 ごみ減量を積極推進するための提案

向日市のごみの収集・処理の費用は年間およそ10億円です。ごみ処理は市民生活の基盤を支える重要な仕事ですが費用の削減が可能です。

##### (1) 古紙類の集団回収を促進すること

向日市が行った収集可燃ごみの検査では、約30%が不適正ごみで、その半分15%が古紙類でした。古紙類については、民間の収集・資源化のルートに乗せれば、リサイクルと経費削減ができます。向日市以外の京都府内のすべての市では、町内会や地域団体などによる古紙類の集団回収に補助金を出しています。

##### (2) ごみ処理費用の分担金をごみ量比例に!

収集したごみの処理は乙訓環境衛生組合で行っており、その費用は乙訓2市1町が分担していますが、各市町の分担金は大半がごみ量比例でなく、人口比例になっています。これではごみ削減の努力が分担金の削減に繋がりません。このしくみは改革するべきです。



# 敗北日本の行く先は

安野 洋子

この30年間、敗北の時代であったという新聞記事。エッと思ったが事実であるらしい。30年前の世界の企業株価の時価総額を比べると、トップ10入りした米国企業はエクソン、モービルの2社のみ。トップテンの8割は日本の企業で、中国は影も形も無かったという。しかし現在では日本のトヨタが40位に入るくらいであり、もの造りの企業はほとんど無いらしい。

企業の盛衰が反映する国のGDP(国内総生産)でも伸び悩む日本に比べ、今では「GAFA」と総称されるIT大手4社(グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン)が巨大な市場支配力を持っている。このIT大手の「GAFA」の情報産業がグローバル市場の中で強大な支配力を持ち、情報・知識は無限に市場拡大できるという。テクノロジーの部門でも半導体、太陽電池、光デ

ィスクと日本が高いシェアを持っていた分野も中国、台湾、韓国などに押され、日本が引っ張る技術が無いという。「アベノミクス」が円高克服、成長戦略と言われたが、何も独創的な技術、産業を生み出さなかったのだ。

40年前、社会学者のダニエル・ベルは、製造を中心とする先進国の資本主義は限界にあると言っていたらしい。情報・知識社会とは市場競争一辺倒の社会では無く、人々の公共的生活を向上させる社会だと唱えた。これからは生活の質に関わるシステムと言われる適切な医療体制の構築、介護や終末医療などの人生の最後の迎え方、人間的な力全般に関わる教育システム、伝統的な文化の継承や保護の仕組みなど、公共的システムの構築こそ情報・知識の適切な使用と言われている。

敗北日本は、どうしたら生き残れるかという重大な時期の国会が1月28日から始まった。その国会では、前代未聞の厚労省の「統計不正」が発覚し、政府は野党の追及にあたふたしている。どうも「アベノミクス」が成功しているとした根拠が崩れるようである。安倍政治の終わりがいよいよ見えてきたのか。今度の参議院選等でへこませなければ日本の未来は無いと思う。

## 沖縄県民投票に連帯する市民投票

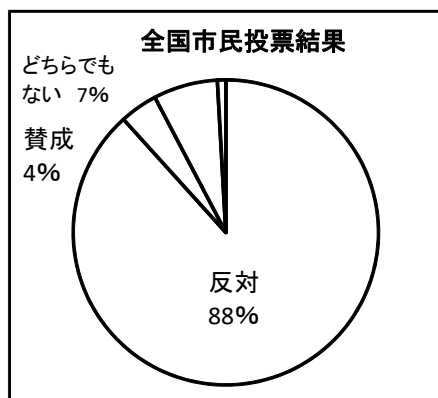
### 辺野古埋立「反対」が88%

2月14日～24日、「辺野古米軍基地建設の賛否を問う」沖縄県民投票に連帯して、市民投票実行委員会・京都が呼びかけた「市民投票」に私も取り組みました。沖縄県民投票と全く同じ内容で、辺野古の埋め立てに「賛成」「反対」「どちらでもない」に○をつけるものです。沖縄の基地のこと、辺野古の問題を、この機会に私たち自身の問題として考えたいと思いました。

喫茶店や事務所に投票箱を置いていただくなど、協力を頂きました。投票最終日の24日には、JR向日町駅前にいろいろな方が投票に来て下さいました。「投

票用紙を下さい」と、参加する集まりに持って行って投票を呼びかけて下さった方、「クラスの友人も関心はあるけど知識・情報が少ないので難しい」と言いながら投票を呼びかけてくれた高校生や、投票箱を前に皆で悩みながら投票してくれた高校生など、若い人たちにも考えてもらえるきっかけになったと思います。郵送投票の中には、「私たちの意思表示ができる機会を作って下さってありがとう」「戦前戦後を生きてきた一人として戦うことは絶対反対」などの思いも書かれていました。

市民投票の結果は、グラフの通りです。県民投票の結果を受けて、政府に沖縄の皆さんが示した民意を尊重させるかどうか、今度は私達日本国民みんなの手にかかっています。(杉谷)



投票総数	反対
全国：21916票	19353票
京都：2741票	2537票